

1 事業概要について（趣旨・構成）

障害者支援施設における利用者のA D L向上を目的として、利用者支援の質を向上するため、リハビリテーション職員（以下「リハ職」）の配置を促進します。

1 リハ職活用動画の視聴

アドバイザー派遣前又は派遣後に動画をご視聴いただき、リハ職の有用性、連携方法、活用方法についての理解を深めていただきます。

事業概要説明 : <https://tokyodouga.jp/a4bsd14h2fy.html>

言語聴覚士の活用 : <https://tokyodouga.jp/gf5urritz3y.html>

作業療法士の活用 : <https://tokyodouga.jp/vevewv2rxci.html>

理学療法士の活用 : https://tokyodouga.jp/_ol-nhdeqng.html



2 アドバイザー派遣

リハ職（作業療法士・理学療法士・言語聴覚士）を施設に派遣し、以下の取組を実施します。

◆派遣期間：令和8年度中に3月～半年程度かけて派遣

◆派遣回数：原則5回（1回の派遣当たり4時間）



回数	事項	実施内容
1回目 2回目	アセスメント 計画策定支援	○リハ職員が施設設備の確認 ○施設職員へのヒアリング ○当該施設や個別ケースに有用なリハビリテーションプログラム（全体計画・個別計画）を提案 ○利用者の状況を観察
3回目 4回目	実演 見直し	○提案したリハビリテーションプログラムの実施状況を確認 ○支援会議等に出席 ○プログラムを見直して再提案 ○計画の実施手法や利用者の状態の記録方法を指導
5回目	総括 効果検証 意見交換	○実演結果の講評 ○振り返り ○意見交換 ○リハ職員を施設に配置した際の関り方や連携方法について指南

3 R8運営について～実施にあたって（派遣リハ職員の皆様へ）～

派遣リハ職員の皆様へ

- ◆事業趣旨（リハ職の有用性、連携方法、活用方法の理解）に則り、「**自施設にリハ職がいたら・・・**」をイメージできるような対応をお願いします。
- ◆障害者支援施設での勤務経験がない場合、**国通知を事前にご確認**ください。
- ◆実施内容の詳細（時間やプログラム等）は、**皆様と受入施設との間で柔軟に決定**して構いません。参考に、想定スケジュールを明示します。



【リハ計画作成を行う場合のモデルケース】

回数	実施内容（モデル）	備考
1回目	・施設設備の確認（ラウンド・備品確認） ・施設職員へのヒアリング ・利用者の状況観察（アセスメント） ※可能なら持参したプログラムの提案	・リハ計画書（参考様式あり）を数名分モデル的に作成 ・施設のリソース把握と支援対象者の状況把握を最優先
2回目	・持参したプログラムを実施 ・職員のみでリハカンファレンス実施 ・リハ計画書簡易版を作成	・施設職員全員がリハカンファレンスを経験したことがない職員だと想定してファシリテーション実施
3回目	・プログラムの実施状況確認 ・見直して再提案 ・計画の実施手法や利用者状態の確認方法を指導	
4回目	・プログラムの実施状況確認、見直して再提案 ・職員のみでリハカンファレンス実施 ・リハ計画書簡易版を見直し	
5回目	・プログラムの実施状況確認、見直して再提案 ・振り返り、公表 ・意見交換	今後、リハ職員を施設に配置した場合の「リハ職の関り方」や「リハ職との連携方法」を意識して指南願います。

※施設がリハ計画作成を希望しない場合は、プログラムの見直しプロセスを重点的に実施願います。